



東京都高齢者福祉施設協議会の1年



医療・介護・福祉のシゴトとサービス

～ご利用者・地域に向けた取り組み～

東京と高齢者福祉施設協議会では、ご利用者やそのご家族の日常を支えるべく、また、コロナ禍でも充実した生活を送っていただけるよう、年間を通じて多くの取り組みを行っています。本特集ではその取り組みをアルバム形式で紹介します。

東京都高齢者福祉施設協議会とは？
東京都高齢者福祉施設協議会は、東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です。(会員数約1,200施設・事業所)

日常

ご利用者の生活の介助に加え、毎日を楽しめるようさまざまな取り組みをしています。



施設内で家庭菜園。日々の成長を楽しみます。育てた野菜は食事に使用され、おいしさもひとしおです。



栄養バランスと味にこだわった食事を提供。食材や彩りで季節感も演出し、食べる方の体調により食感も個別に調整しています。



感染症対策を徹底しながら、ボランティアの方に協力いただき、たのしいレクリエーションを実施しています。



高齢者のコロナウイルスなどの感染症を防ぐため、消毒や検温を含めたさまざまな対策をしています。

施設でのイベント

年間を通じて季節感のあるさまざまな行事を行い、日常に彩りを持たせます。



新年会では職員が出し物、出店などさまざまな催しをしています。ご家族を招待することも。



夏祭りはみんなで浴衣を着て盆踊り。日本ならではの季節のイベントを五感と笑顔で楽しんでいただいています。



子どもの日。地域や提携の保育園の子どもとの交流を楽しみます。

地域貢献活動

健康講座や訪問活動、交流会を通じて地域の方に貢献します。



介護体操講座。地域の高齢者の要介護やフレイルを防ぐべく、施設職員が啓発・実践をしています。感染対策のためオンラインも活用しています。



地域の清掃活動や認知症カフェ、子ども食堂など、地域の方に貢献するさまざまな活動をしています。



災害に備え、地域と合同で防災訓練をしています。災害時、障害を持つ方の福祉避難所として登録している施設も多数あります。

高齢協の取り組み

年間を通じて調査・研究や研修会を開くほか、介護の啓発を行うイベントを行います。



高齢協主催の研究大会「アクティブ福祉」。現場での実践・研究を共有し介護を進歩させます。今年はオンラインで開催されました。



介護の魅力を発信する「東京の介護ってすばらしい!グランプリ」。HP、食事、エピソード等の分野ですぐれた作品を紹介します。

新型コロナ感染拡大の影響により、高齢者の在宅生活では外出や介護サービスの利用を控える方が増えています。生活不活発により健康への影響が心配されます。たとえば、転倒や誤嚥、認知症の進行による行方不明などです。低体温や脱水症状を引き起こすことも危惧されます。一方、介護をする方には身体面、精神面、時間面などの負担が重くなり、

介護離職といった事態も起こりえます。高齢協の会員施設・事業所は、常に緊張感をもって新型コロナウイルスの感染予防に努めています。冬場に懸念されている「第6波」への警戒感を維持しつつ地域のみなさまに対する介護・支援に努めて参りますのでご安心ください。



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 会長 田中 雅英

HP 東京都高齢者福祉施設協議会 <https://www.tcsvc.tvac.or.jp/bukai/kourei/> | アクティブ @TokyoKourei | 高齢協 会長 @Koureikyō | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 @tokyokourei | 東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 koureikyō | YouTube